

令和元年度の流れ

6月～7月

スキルアップ研修Ⅰ

- ▶ファシリテーション
- ▶講演会
(同)Active Learners
共同代表
山ノ内 凜太郎氏
- ▶グラフィック



高校生がグラフィッカーとして活躍



学校・学年は関係なく一緒に学ぶ

7月～令和2年1月

スキルアップ研修Ⅱ

ファシリテーションの手法やファシリテーターとしてのスキル向上を目指し、手法習得に特化した4つのプログラムを実施しました。



OB・OGも参加



ファシリテーターに認定された高校生

協力事業所などによるプログラム

牧之原消防署や矢崎総業株式会社などの協力により、さまざまなテーマで15のプログラムを実施しました。



消防署員とのワークショップ



協力事業所でのプログラム

参加者の声

(*) 令和2年3月時点



相良高校3年(*)
遠藤 圭人さん

これまでなかった考え方ができるようになった

2年間、地域リーダー育成プロジェクトに参加させていただきました。この活動を通じて、地域に対しての知見が深まるだけでなく、多くの人との会話を通じて、これまでの自身にはなかった考え方ができるようになりました。この活動に、今後も多くの人に参加してくれると嬉しいです。

人前で話すことが得意になった

私は人前で話すことが苦手なタイプだったんですが、clip(ファシリテーターの団体)の皆さんや地域の方が話しかけやすかったので、得意になりました。

また、内容が毎回違って、新しい思考を知ることが楽しかったです。話すことが苦手な人にもぜひ参加してほしいです。

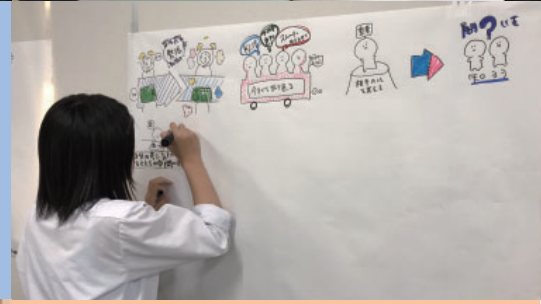


榛原高校1年(*)
久坂 律さん

地域リーダー



育成



プロジェクト

「対話」から未来の行動につなげる

高校生と地域の大人との対話を通じた人材育成に取り組む「地域リーダー育成プロジェクト」。5年目となる令和元年度の取り組みを紹介します。

問い合わせ 地域振興課 松浦 ☎0053

市では、高校と地域が連携・協働し、①地域に誇りを持つ②将来、地域を担う③地域の課題解決に貢献する人材を育成することを目的に、平成27年度から、市内にある県立榛原高校・相良高校と「地域リーダー育成プロジェクト」を実施してきました。

令和元年度は、6月から7月に「スキルアップ研修」、8月以降に「対話のプログラム」を実施し、延べ602人の高校生が参加しました。

スキルアップ研修では、市の認定を受けた市民ファシリテーターが講師となり、「ファシリテーション」や「グラフィック」について学びました。

対話のプログラムは、スキルアップ研修より詳しくファシリテーションの手法やスキルを学ぶものや、市内事業所などの協力により、企業の事業内容や地域について学ぶものなど、さまざまなテーマで19個のプログラムを実施しました。

参加した高校生からは「高校生として市に貢献したいという思いがすごくできたし、自分の知識が増えてよかった」「地域の魅力の発信方法について考えたいと思った」「世代の違う人と関わること

に意義を感じ、より物事を多面的に考えられるようになった」といった感想がありました。このことから、参加した高校生に地域貢献の気持ちが生えたことや、人との関わり・対話の重要性を学んだことがわかります。



「グラフィック」とは

対話のプロセスを、文字や絵で可視化することです。グラフィックの効果として、話し合いの内容を記録として振り返ることができ、内容を共有しやすくなることなどがあります。

◀ 実際のグラフィックの例